

# 優良飼料作物 (6)

## 家畜南瓜 (ポンキン)

寒暖、いずれの地帯にも良く生育し、暖地では、酷暑前、寒地では秋に収穫、貴重な多汁質飼料として、生で家畜に与えますが、カロチン、ビタミン、水分を豊富に含んでいるので、泌乳量をいちじるしく増加させ、また葉餌の効果も大きいという特異な根菜です。栽培は食用南瓜よりやや広めに畝を作りますが、その空地を利用して、ポンキンの蔓の伸びるまでカブを間作したり、あるいは日陰にならない程度、玉蜀黍等を間作したり、その土地利用上、大変有利なものです。

ポンキンには次のような二品種が主に利用されております。

### マンモス・ポンキン

果皮は桃色で肉厚く、一個三〇センチ以上にもなります。嗜好性は極めて良好であるが、貯蔵性に乏しく(約一ヵ月)また洋種食用南瓜と交雑する恐れがあります。(写真はマンモス・ポンキン)

### ラージ・ポンキン



橙色の果皮に縦の条溝が多数にあるポンキンで、重量は一個一五キ程度で、一株の着果数はマンモスより多い。果皮が硬いので、マンモスより貯蔵性はあるが、それだけ嗜好は劣りまじ。洋種食用南瓜との交雑の心配なく、土地を選ばず、栽培が極めて容易な早生種として、大いに利用されております。

## デオシント

## カウビー

夏期、高温早魃地帯で良く生育するまめ科の一年性飼料緑肥作物で、とくに乾燥地では、青刈大豆に代る優良作物です。暖地向の作物であるので、寒さに強く、強い霜にあたれば枯死するので、玉蜀黍や大豆の播種後に播くようにします。生育期間が短く、気温の上昇と共に急速に伸びるので、(二〜三回)、単播よりむしろ、玉蜀黍、スーダン、ソルゴー、デオシント、パールレット等に同時に播くか、遅播して混播する方が、収量栄養価共に多収となり有利であります。

(写真カウビーとデントコーンの混播)



暖地において、夏期高温時に極めて多量の青刈が得られる一年性のいね科作物で、とくに分蘖数が多く、非常に葉の多いことが特徴です。初期生育が遅いが、再生力が旺盛なので、二〜三回刈取りができ、玉蜀黍を三回播きたくらいの収量が得られます。



カウビーと同様、寒さに弱いので、主に暖地において利用され、大葉つるまめ、カウビー等と混播し、夏が来るときの飼料不足を解消してくれる貴重な飼料作物として価値高いものです。